

時事解説

平成 29 年度植物防疫研究課題の概要

農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究開発官(基礎・基盤、環境)室

はじめに

農林水産省所管の国立研究開発法人（以後「国研」と略）の財源は主として「運営費交付金」であるが、各種の外部資金も活用している。主たる財源の「運営費交付金」は「渡し切り」資金であり、農林水産大臣が定めた「中長期目標」の枠組みの中であれば、国研が柔軟に運用できる。

一方、外部資金としては、

- ・農林水産政策上重要な研究のうち、我が国の研究精力を結集して総合的・体系的に推進すべき課題や多大な研究資源と長期的視点が求められ、個別の研究機関では担えない課題について、農林水産省自らが企画・立案し、研究を実施するコンソーシアムを公募のうえ、年度ごとの進行管理を行うことによって重点的に実施する「委託プロジェクト研究」
- ・資源配分主体が広く研究開発課題などを募り、提案された課題の中から、専門家を含む複数の者による科学的・技術的な観点を中心とした評価に基づいて実施すべき課題を採択し、研究者などに配分する、「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」をはじめとする競争的資金が挙げられる。

また、植物防疫関係課題は、行政ニーズに基づく課題が多く、これらの行政部局の具体的な発注に基づく「安全な農林水産物安定供給のためのレギュラトリーサイエンス研究」による研究開発も行われている。

以下に、植物防疫関係のプロジェクト研究を中心に平成 29 年度の農林水産試験研究費予算概算決定の概要を述べる。

I 農林水産技術会議事務局関係の平成 29 年度予算概算決定および平成 28 年度補正予算の重点事項

平成 29 年度の予算要求のポイントは以下の通りである。新たな国際環境の下においても「強く豊かな農林

水産業」と「美しく活力ある農山漁村」を実現するため、農林水産業に夢と希望を持って、経営の発展に積極果敢に取り組む生産者を応援する対策を技術面から実施している。

以下に、主な研究項目と事業名を挙げる。事業名だけでは内容がわかりにくい場合には、主な研究・事業内容を記した。

平成 29 年度予算概算決定の重点事項

1 戦略的プロジェクト研究推進事業【新規】(10 億 5 千万円)

(1) 人工知能未来農業創造プロジェクト
後掲

(2) 蚕業革命による新産業創出プロジェクト

遺伝子組換えカイコを活用した新産業を創出するため、カイコに医薬品などの有用物質を効率的に生産させるための基盤技術などの開発を推進する。

(3) 薬剤耐性問題に対応した家畜疾病防除技術の開発

家畜生産基盤の強化のため、動物用抗菌剤の使用によるリスクを低減するための研究を実施するとともに、抗菌剤に頼らない常在疾病防除技術の開発を推進する。

(4) 農業分野における気候変動緩和技術の開発

農林水産業の持続性確保のため、農業分野における主な温室効果ガス排出源のうち、現時点で実用的な削減・吸収技術が確立していないものに対する革新的な気候変動緩和技術の開発を推進する。

(5) 農業における昆虫などの積極的利活用技術の開発

農業の競争力強化に向けて、未利用資源である昆虫などを活用するため、農業における昆虫などの花粉媒介者としての積極的利活用技術の開発を推進する。

2 市場開拓に向けた取組を支える研究開発 (3 億 9 百万円)

(1) 薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発

高品質の薬用作物について、他作物の研究者・研究機関が蓄積している知見や技術も幅広く活用しながら、製薬メーカーや国内産地と連携しつつ、低コスト生産を可

Government Research Projects on Crop Protection in 2017.

(キーワード：平成 29 年度予算要求、植物防疫研究課題、農林水産技術会議事務局)